

前門挨拶

去る6月30日をもちまして、門首としての務めを終えさせていただきました。

これまでの間、^{れんにょしょうにん}蓮如上^{ごえんき}人五百回御遠忌法要、^{しゅうそしんらんしょうにん}宗祖親鸞聖人七百
五十回御遠忌法要の^{ごんしゅう}嚴修や、真宗本廟兩堂等の御修復という勝縁
に^あ遇^{よろこ}いえた慶びとともに、東日本大震災をはじめ、頻発する災害
の中で、皆さまと悲しみを共にした24年間でもありました。

永きにわたり、門首としての務めを果たすことができましたこと
は、何より、常なる^{ぶっそ}仏祖のご恩と御同朋の^{おんどうぼう}皆さま方の心温まるお支
えによるものと、心から深く感謝申し上げます。

今後、門首におかれましては、ご門徒とともに^{もんぼう}聞法に励まれ、
益々ご活躍いただくことを願いつつ、ここに宗祖親鸞聖人の^{ねんぶつ}お念仏
のみ教えが、未来永劫にわたって相続されていくことを心から念願
いたします。

大谷暢顯（釋淨如）